

# groove!

★ 特集 ★

救急専門医スペシャル座談会

これからの富山の救急医療を  
ともに作り上げよう！



Hospitals & Doctors Magazine in TOYAMA groove! グルーヴ vol.01 富山県臨床研修病院連絡協議会 (富山県厚生部医務課内) 〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号 Tel.076-444-3218 (直通)

## TOYAMA DOCTOR BANK

### 富山県ドクターバンク

医師の皆さま、北陸新幹線開業で  
首都圏にぐっと近くなる富山県で働きませんか！

#### 富山県ドクターバンクの特徴

- 求人情報の提供から就業までをトータルにサポートします。
- 個々の希望に沿った後期研修先・就業先をオーダーメイドでご紹介します。
- 生活面等のさまざまな相談にもお応えしますので、富山県に住むのが初めての方も安心です。



ぜひ一度  
お問合せ  
ください！

#### INFORMATION

富山県地域医療支援センター (富山県厚生部医務課内)

TEL : 076-444-3218 FAX : 076-444-3495 E-mail : ishimosyu@toyama-doctorbank.jp URL : http://toyama-doctorbank.jp/

富山県ドクター



#### 臨床研修病院一覧

	住所	病床数	URL
<input type="checkbox"/> 黒部市民病院	黒部市三日市1108-1	414床	<a href="http://med-kurobe.jp/">http://med-kurobe.jp/</a>
<input type="checkbox"/> 富山県立中央病院	富山市西長江2-2-78	733床	<a href="http://www.tch.pref.toyama.jp/">http://www.tch.pref.toyama.jp/</a>
<input type="checkbox"/> 富山市立富山市民病院	富山市今泉北部町2-1	595床	<a href="http://www.tch.toyama.toyama.jp/">http://www.tch.toyama.toyama.jp/</a>
<input type="checkbox"/> 富山大学附属病院	富山市杉谷2630	612床	<a href="http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/">http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/</a>
<input type="checkbox"/> 富山赤十字病院	富山市牛島本町2-1-58	435床	<a href="http://www.toyama-med.jrc.or.jp/">http://www.toyama-med.jrc.or.jp/</a>
<input type="checkbox"/> 富山県済生会富山病院	富山市楠木33-1	250床	<a href="http://www.saiseikai-toyama.jp/">http://www.saiseikai-toyama.jp/</a>
<input type="checkbox"/> 高岡市民病院	高岡市宝町4-1	476床	<a href="http://www.med-takaoka.jp/">http://www.med-takaoka.jp/</a>
<input type="checkbox"/> 富山県済生会高岡病院	高岡市二塚387-1	266床	<a href="http://www.takaoka-saiseikai.jp/">http://www.takaoka-saiseikai.jp/</a>
<input type="checkbox"/> 厚生連高岡病院	高岡市永楽町5-10	562床	<a href="http://www.kouseiren-ta.or.jp/">http://www.kouseiren-ta.or.jp/</a>
<input type="checkbox"/> 金沢医科大学氷見市民病院	氷見市鞍川1130	250床	<a href="http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/">http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/</a>
<input type="checkbox"/> 市立砺波総合病院	砺波市新富町1-61	514床	<a href="http://www.city.tonami.toyama.jp/tgh/">http://www.city.tonami.toyama.jp/tgh/</a>
<input type="checkbox"/> 南砺市民病院	南砺市井波938	175床	<a href="http://shimihp.city.nanto.toyama.jp/">http://shimihp.city.nanto.toyama.jp/</a>

# groove! INDEX

## SPECIAL TALK SESSION 救急専門医スペシャル座談会

### P.02 これからの富山の救急医療をともに作り上げよう!

小倉憲一先生

富山県立中央病院 救命救急センター部長

若杉雅浩先生

富山大学附属病院 災害・救命センター長代理

吉田昌弘先生

厚生連高岡病院 救命救急センター長

廣田幸次郎先生

市立砺波総合病院 集中治療・災害医療部長

## HOSPITAL REPORT 病院紹介

### P.06 富山大学附属病院 Catch the Dream!! あなたのチカラになります

### P.09 富山県立中央病院 よく学び、よく遊ぶ 充実した研修生活!

## CROSS TALK 対談特集 研修医×○○

### P.12 研修医×研修医

天満雄一先生 × 杉本宰甫先生

### 黒部市民病院

初期研修で臨床力を身につけて、どこでも通用する医師に!

### P.13 研修医×先輩医師

三好俊太郎先生 × 大浦誠先生

### 南砺市民病院

病気と生活、両方をみるバランス感覚を備えた総合医志向

### P.14 研修医×指導医

田口理恵先生 × 宗玄圭司先生

### 厚生連高岡病院

フレキシブルな病院風土があるからできる自分の研修スタイル

### P.15 研修医×看護師

新居絵理先生 × 松原直美看護部長

### 市立砺波総合病院

患者さんもコメディカルも研修医の強〜い味方

## TOYAMA NAVI 富山ナビ

### P.16 心揺さぶる富山の魅力

県内の交通網 / 住みやすい県 富山 / 富山のごちそう / 富山県民に聞いた“休日”の過ごし方 /

データで見る富山県 / 問診で役立つ富山弁集



COVER

#### 富岩運河環水公園 (ふがんうんがかんすいこうえん)

JR富山駅北口から徒歩9分。富山を訪れる人が一度は行きたい場所と言われる富岩運河環水公園。緑豊かな水辺の公園で、立山連峰を望む天門橋や泉と滝の広場のほか、運河では水上クルーズも楽しめます。周辺には「世界一美しいスターバックスコーヒー」や「フレンチの鉄人」坂井宏行シェフ監修のレストランもあります。花火大会など四季折々のイベントもあり、ライトアップされた夜景も格別です。

#### 富山湾越しに望む立山連峰

海越しに3,000m級の山々を望むところは、能登半島国定公園の氷見海岸一帯から雨晴海岸(高岡市)にかけてで、世界的にも例を見ないたいへん美しい景観です。

富山県で活躍する医師たちを通して  
富山県の医療と臨床研修の  
魅力を紹介するマガジン『groove!』。  
『groove!』とは、音楽用語で  
「素晴らしい演奏」を表す言葉の一つです。  
地域の人々の健康を守るためには  
地域住民との「信頼関係」と  
地域医療機関との「連携」が必要不可欠です。  
医療の本質と医療の未来を見つめ続ける  
富山県の医師たちの『groove!』を  
感じていただけたら幸いです。

# Hospitals & Doctors Magazine in TOYAMA groove!

2014 vol.01



### 救急の2つのタイプ ～ER型と集中治療型～

**小倉先生**：救急は地域や病院によって仕事の内容が全く違うので、研修の内容にも各病院の特色があります。

県立中央病院のERでは、各専門診療科を背景に、重症

治療型です。ただ、輪番日でも患者さんがたくさん来るわけではないので、研修医と対応の振り返りができるのが、当院のいいところです。

**若杉先生**：富山大学附属病院はERと集中治療のハイブリッド型です。大病院ならではの高度な治療はもちろん、医療の標準化や学問として救急を極めるための海外留学もできます。

### 救急医に求められる資質とは

**廣田先生**：救急にはいろんな患者さんが来るので、コミュニケーション能力が必要です。その患者さんが何を求めているのかを短時間で察知しなければいけません。

**若杉先生**：他の診療科とは違って、救急車で運ばれてくる訳ですから、患者さんとの信頼関係が築けていない中、短時間で診療をやらなければいけないですね。

**小倉先生**：でも、そこが救急の魅力的な部分でもあるのかな。

他にも、救急の現場は、社会とつながっていて、警察や消防の方などいろいろな人と接する機会が多いです。他の診療

**吉田先生**：厚生連高岡病院の救急では、ERの他、ICUにおける集中治療を行っています。救急車搬送数は年間約3000台です。研修医は、常に指導医とともに診療に当たり、重症患者の初療から集中治療、さらには一般病棟の一貫した患者管理を学ぶことが出来ます。

**廣田先生**：市立砺波総合病院は、集中

科ではあまりないことだと思いますね。

**吉田先生**：救急医は各領域の幅広い知識を持っているので、複数の診療科にまたがるような傷病の場合に、救急医が各科の医師をコーディネートして指揮を執ると、患者管理をスムーズに行えることがしばしばあります。救急医には診療チームのリーダーとしての役割も求められます。

### 病院の垣根を越えた 救急研修で富山県の 救急医療を前進

**若杉先生**：各病院には、ERで治療をする人と、その後に、ICUで重症患者を診る人の両方の人材が必要なんです。今は

どこもマンパワー不足。全国的にみても、両方は確保できていないのが現状なんです。

**吉田先生**：救急医を確保するためには、初期から後期まで一貫した救急医の育成システムが必要となってきます。我々、4病院が協力体制を取れば、富山県内でも十分な教育が行えると思います。

**廣田先生**：そこで、富山県では、救急を

## これからの富山の救急医療をともに作り上げよう！

そもそも富山県の医療環境ってどうなっているの？ 研修の目玉はあるの？

今まで縁のなかった人にはよくわからないのも当然のこと。

病院の垣根を越えた後期研修プログラムを作成している4人の救急専門医に、

富山県の医療・救急の現状と富山県で働く魅力を教えてもらおう。



富山大学附属病院  
災害・救命センター長代理

若杉 雅浩 先生  
Masahiro Wakasugi

Profile

- 愛知県出身
- 1993年 富山医科薬科大学卒業
- 1993年 富山医科薬科大学附属病院医員（研修医）
- 1993年 富山県立中央病院研修医
- 1993年 新潟県立川メディカルセンター麻酔科
- 1995年 富山医科薬科大学大学院医学系研究科博士課程入学
- 1999年 同修了
- 1999年 富山県立中央病院救命救急センター部
- 2004年 富山大学医学部救急・災害医学講座講師
- 2008年 スウェーデン・リンショピン大学災害外傷教育センター
- 2009年 富山大学附属病院救急部副部長・臨床准教授
- 2013年 富山大学附属病院災害・救命センター・臨床教授



富山県立中央病院  
救命救急センター部長

小倉 憲一 先生  
Kenichi Ogura

Profile

- 富山県出身
- 1994年 自治医科大学卒業
- 1994年 中国上海医科大学・上海市衛生局
- 1994年 富山県立中央病院研修医
- 1996年 氷見市民病院内科
- 1997年 利賀村国保直営診療所
- 1998年 自治医科大学附属病院脳神経外科
- 2002年 富山県立中央病院救命救急センター部
- 2010年 金沢医科大学医学部救急医学准教授
- 2011年 金沢医科大学病院救急医療センター
- 2012年 University of Pittsburgh
- 2013年 富山県立中央病院救命救急センター部長

SPECIAL TALK SESSION

救急専門医スペシャル座談会

Message by Dr. Ogura  
今、富山の救急医療が新しい時代を迎えようとしています。「チーム富山」として富山で一緒にがんばりましょう。



志す若い医師を養成するために、救急専門医がいる県内の4病院が連携して、研修医の希望に合わせた救急の後期研修プログラムを作り始めました。

救急は患者さんから学ぶことがとても多いので、多くの患者さんを経験することが医師としての一番大きな糧となります。

若い医師の皆さんには、多くの経験を積んで学んで欲しいので、どの病院のプログラムを選択しても、希望があれば他の病院でも研修が受けられるようにします。病院の枠を越えたこのような仕組みは、全国的にも珍しいんじゃないかな。

小倉先生：救急医になろうという人にも、研修に対するさまざまなニーズがありますよね。そのニーズに応じて、希望すればいろいろ



Message by Dr. Wakasugi  
山、海、街と富山は環境も症例もバラエティ豊か。そんな富山を熱い心で支える救急医求む！

若杉先生：これまでもピックアップ方式で現場に出ていましたが、ドクターヘリの導入で、富山県の病院前医療をますます充実していきたいと考えています。

住民の命を少しでも多く救うことが我々の使命であり、救急の醍醐味でもあります。助かる命が増えるので、救急医療の現場での士気が非常に高まっていますよ。

吉田先生：ドクターヘリは、初期研修医や専門医を目指す医師にとって、今後どのような診療科へ進むにしても、大変貴重な経験になりますね。

小倉先生：そのために、ドクターヘリでの救急医療を経験したい研修医を、県内

いろいろな病院でERも集中治療も両方経験できるというプログラムの方が、救急医として成長できるし、魅力的だと思います。

若杉先生：いろいろな県から富山に来てもらって、同じ救急医として、仲間として、県内でみんなで様々な経験をしたいというよというコンセプトです。

小倉先生：これからは、県外や海外に研修に行けるシステムを中心に組んでいきたいと思っています。富山県の救急医療がよくなるには、外からの風が必要なんですよ。

吉田先生：救急を志望する若手医師はモチベーションが高い。いろんな経験をしたい、いろんな最先端のところも見に行きたい。我々と一緒に頑張った研修医の人たちが外で何かを学んで、また戻ってきてくれたら、私たちの力も上がります。一時的に人員が減っても、将来的には優秀な救急医が増えると思います。「学びたい」という気持ちを応援したいですね。

若杉先生：そうすることで、救急を志す人が増えてくれればいいですね。今後は、富山が日本の救急を引っ張って行く、そういう新しい救急の仕組みを研修医の人たちと作っていきたいですね。

のどの病院からでも受け入れられるような体制を考えています。

廣田先生：東日本大震災でのDMATなどがきっかけで、他の病院の方と活動する機会が増えて、だんだんと病院の枠を越えてきましたよね。その先駆けになったのが我々、救急の現場の人間です。

吉田先生：富山県では、皆さんの若い力をまだまだ必要としている病院があります。病院の枠を越え、皆さんのやりたいことができる研修プログラムを用意してお待ちしています。

若杉先生：研修医も含め、私達みんなです。それができるのも、富山県のいいところでは、さまざまな診療科がそろっているの

で、救急医としてのキャリアを積みながらサブスペシャリティを取得することもできます。

廣田先生：こうやって、同じ思いを持っている人間が集まるのは意義のあることです。

ドクターヘリで富山の救急が変わる

小倉先生：富山県は、高度救急医療体制の充実を図るため、県立中央病院を基地病院として、平成27年度早期のドクターヘリ導入に向けて準備を進めています。

廣田先生：これにより、富山県の端から端まで15分で行けるようになりますね。出動件数が多くなっても、実際にそれで助かる患者さんがいる。我々が現場に行くと、すぐに治療を始めることで助かる命があります。そういう意味でドクターヘリの威力はすごくあると思います。これからは救急が現場に出る時代です。



Message by Dr. Yoshida  
より良い救急医療を実践するため、一緒に働ける仲間を沢山集めたいと思っています。

へコミそうなことも何度もありました。それを支えてくれたのが、自分と同じ志を持っている若い医師が入ってくれたことなんです。自分と同じ志を持っている若い医師を育てることが、自分の大きな支え・モチベーションになっています。後継者や右腕、左腕ができること、やっていてよかったと思いますね。

小倉先生：ドクターヘリの導入で、今、富山県の救急医療が変わっていきこうと思っています。「自分がやってやる」という気持ちを持って入ってくる人には、いろいろなチャンスが転がっているの、ぜひ、我々と一緒に新たな時代を切り拓いていきましょう。



Message by Dr. Hirota  
救急・集中治療や災害の現場には、私達が力を合わせて初めて救命できる患者さんがいます。



市立砺波総合病院  
集中治療・災害医療部長

廣田 幸次郎  
Koujiro Hirota

Profile

- 富山県出身
- 1984年 金沢大学卒業
- 1984年 金沢大学附属病院麻酔科入局
- 1985年 高岡市民病院麻酔科
- 1988年 金沢大学大学院医学研究科入学
- 1992年 同修了
- 1992年 日本医科大学附属病院救命救急センター助手
- 1994年 金沢大学附属病院救急部集中治療部助手
- 1997年 厚生連高岡病院救命救急センター部長代理
- 2005年 厚生連高岡病院救命救急センター長
- 2014年 市立砺波総合病院集中治療・災害医療部長



厚生連高岡病院  
救命救急センター長

吉田 昌弘 先生  
Masahiro Yoshida

Profile

- 埼玉県出身
- 1992年 金沢大学卒業
- 1992年 金沢大学附属病院麻酔科蘇生科
- 1993年 石川県立中央病院麻酔科
- 1996年 金沢大学附属病院麻酔科蘇生科
- 1998年 金沢大学附属病院救急部集中治療部
- 1999年 厚生連高岡病院救命救急センター医長
- 2014年 厚生連高岡病院救命救急センター長

これからの富山の救急医療を  
ともに作り上げよう！

SPECIAL TALK SESSION

救急専門医  
スペシャル座談会



何でも話せる北島卒後臨床研修センター長



執刀医として手術に挑む研修医



多彩な講師によるイブニングセミナー



手技・技術を磨く手技セミナー



研修医室の隣にあるスキルスラボ

### 医師としての 第一歩を踏みだそう

富山大学附属病院では、医師としての土台をつくる初期研修を自分でプログラムすることができ、自分の将来像に向かって充実した2年間を過ごすことができます。

各診療科から選出された臨床研修担当教育医長の存在とマンツーマンで指導する体制、温かなふれあいを大切にする塚田病院長、指導医のもとであなたのやる気を後押しする環境を整えています。

2010年に完成した新病棟には研修医室を備えた更衣室やシャワールーム、仮眠室がありスキルスラボも併設され

ています。大学病院だからこそ専門性に特化した疾患や common disease を幅広く経験すること、手技・技術を磨く手技セミナーも数多く行っています。

また、多彩な講師によりイブニングセミナーを開催し、疾患を探索するリサーチマインドを身につけることができます。一人ひとり思い描くキャリアパスの実現のためには卒後臨床研修センタースタッフの細やかなサポート、医師としての技術と心を磨き、自分の思い描く将来像に向かって充実した初期研修を過ごし、豊かな人間性を備えた医師を育成します。



HOSPITAL REPORT 病院紹介

# Catch the Dream !!

あなたのチカラになります

## 富山大学附属病院

■ 病院長：塚田一博 ■ 病床数：612床 ■ 指導医：245名 ■ 研修医：48名

県内唯一の特定機能病院である当院は、患者さんに軸足を置いた最先端医療だけでなく、豊かな人間性をもった医療人の育成を行っています。また、ものづくりの富山ならではの医療を開発し、『東西医学の融合』をリードする存在として、世界に発信する取組を図っています。

開院から36年目を迎え、病棟や手術部の改修を終え、外来診療棟等の新設・改修に着手しています。生まれ変わりつつある本院では、新たな息吹となり、患者さんやすべての人のために希望となる人材を創る教育機関としての使命を果たします。



病院長メッセージ

MESSAGE FROM HOSPITAL DIRECTOR

学生から臨床まで、  
一貫した教育で「善い医師」を育成

大学病院は医育機関であるため、学生から臨床に至るまで一貫した教育で医師を育成するのが特徴です。学生の6年間から初期臨床の2年間を経て、その後専門医になるまでに10年程かかります。その間、連続性をもって指導することができるのは大学病院ならではの強みです。しかし、人によっては1カ所で長く学ぶことが必ずしもいいこととは限りません。富山大学附属病院では、富山県内に限らず他の施設との連携によりたすきがけの研修を行い、より多くの人と接し、様々な病院の特徴を学ぶ機会も設けています。

当院で研修した方には、知識や技術を持ち、かつ豊かな人間性を備えた「善い医師」になっていただきたいと思っています。それは2年間の初期研修のみで修得することは不可能です。生涯にわたって自分の努力が必要であることがわかっていただければいいと思います。善い医師になろうという意識があれば、どこにいても世界に羽ばたくことができます。私は当院の病院長として、研修医全員と1つのテーブルを囲み、研修中の悩みや経験を聞く機会を作っています。その場での研修医の話は研修を提供する我々にとって改善のヒントになり、研修医同士では情報の共有ができ、安心して繋がります。「善い医師」になるためのいい環境を作る、それが私達の仕事です。



富山大学附属病院  
病院長

塚田 一博 氏  
栃木県出身 新潟大学卒

【専門】  
消化器外科  
(特に肝胆膵外科・門脈圧亢進症を専門とする)  
手術前後栄養管理の研究

【資格】  
日本外科学会(代議員・指導医・専門医)  
日本消化器外科学会(監事・評議員・  
指導医・専門医・第67回総会会長)  
日本消化器病学会(財団評議員・  
学会評議員・指導医・専門医)  
日本肝胆膵外科学会(評議員・  
高度技能指導医)  
日本門脈圧亢進症学会(理事・評議員・  
第17回総会会長)  
日本腹部救急医学会(評議員・  
第46回総会会長)  
その他多数学会に所属する

HOSPITAL REPORT 病院紹介

よく学び、よく遊ぶ 充実した研修生活!

富山県立中央病院

■ 病院長：野田八朗 ■ 病床数：733床 ■ 指導医：90名 ■ 研修医：23名

富山県立中央病院には、現在23名の研修医が在籍しています。出身大学や出身地はばらばらですが、チームワークは抜群!お互いにいい刺激を受けながら意欲的に研修生活を送っています。研修医が主体的にやりたいことをやらせてもらえる環境があり、当院でしかできない様々な経験があなたを待っています。人数も多すぎないので、研修医同士、さらには病院のスタッフ同士、顔の見える関係が魅力です。



DATA

■ 診療科：代謝・内分泌内科、免疫・膠原病内科、呼吸器内科、循環器内科、腎・高血圧内科、消化器内科、血液内科、皮膚科、小児総合内科、小児循環器内科、小児発達神経科、神経精神科、放射線科、心臓血管外科、小児循環器外科、呼吸器一般外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、麻酔科、歯科口腔外科、和漢診療科、神経内科、感染症科、総合診療部、臨床腫瘍部

連絡先

〒930-0194  
富山県富山市杉谷2630  
TEL:076-434-7806 FAX:076-415-8990  
E-mail:resident@med.u-toyama.ac.jp

<http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/rtc/>

指導医からのメッセージ

本院の特徴は、研修医が各自のニーズに合わせたオーダーメイドのプログラムで研修できることです。将来の専門医取得も視野に入れた充実した研修ができるよう、各科に臨床研修担当教育医長を配して皆さんの研修をサポートします。医師としての第一歩を我々と共にスタートしましょう!



小児科学講座教授  
足立雄一先生  
富山県出身  
富山医科薬科大学卒

先輩研修医の声



初期研修医2年目  
廣川達郎先生  
富山県出身 富山大学卒

皆さん、こんにちは! 富山大学附属病院では大学病院らしい機能としての高度、3次医療に関わりつつ、教育熱心な指導医、そして若さあふれる医学生との日々和気藹々と充実した研修生活を送ることができます。また、研修内容についても自分でフレキシブルに設定できることも良い研修となる秘訣です。

病院長メッセージ

MESSAGE FROM HOSPITAL DIRECTOR

研修医本意の多彩なプログラムで  
余裕をもった研修を

富山県立中央病院は、富山県の基幹・中核病院であり、がんを含む高度急性期医療を担うと同時に、政策医療として救命救急医療、母子・周産期、小児医療、精神科救急と精神科合併症に特化した精神科医療を行っています。また、災害拠点病院として富山県の災害医療においても重要な役割を担っています。

当院は、3次救急を担い、各診療科においても多くの専門医や指導医が揃っていますので、非常に多くの症例を経験することができます。初期研修においては、広く多くの症例を経験していただき、自身の進みたい道が見つけれられるように、研修医本意の多彩なプログラムを設けています。今年度からは1～2週間の海外研修プログラムも作りました。もちろん国立がん研究センターなど国内の他の専門的な施設で研修することも可能です。また当院は様々な学会の専門医養成の研修施設にもなっているため、後期研修後には、専門医取得の道も開けています。今後は、総合診療専門医のコースも設ける予定です。

まず医師としてファーストタッチができる、所謂トリアージができるようになり、患者さんやコメディカルとの関わり方も学び、臨床医としての全人的な基礎を当院の初期研修で培っていただきたいと思います。何よりも楽しく余裕をもって研修に臨んでいただくことが大事です。



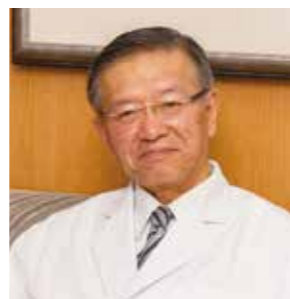
DATA

■ 診療科：内科、精神科、神経内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科

連絡先

〒930-8550  
富山県富山市西長江2-2-78  
TEL: 076-424-1531 (代表)  
FAX: 076-422-0667  
E-mail: byoin-keieikanri@esp.pref.toyama.lg.jp

<http://www.tch.pref.toyama.jp/>



富山県立中央病院  
病院長

野田 八嗣 氏

富山県出身 金沢大学卒

【専門】

内科、消化器病、肝臓病

【資格】

日本消化器病学会  
(専門医・指導医・学会評議員)  
日本消化器内視鏡学会  
(認定専門医・指導医・学会評議員)  
日本肝臓学会  
(専門医・指導医・西部会評議員)  
日本内科学会  
(総合内科専門医・指導医・学会評議員)  
医学博士  
金沢大学医学部臨床教授  
富山大学医学部臨床教授



救急の初期診療の様子



エコー検査実習



研修医ラウンジ



グランディール(研修医住宅)

県民107万人を支える医療

当院は富山県の中心に位置する基幹・中核病院で、県内各地から患者さんが集まります。第3次救命救急センター、NICUとMFCUを有する総合周産期母子医療センター、25床の緩和ケア病床、がん診療も県内トップの実績を誇り、化学療法や放射線治療にも力を入れています。平成28年にはがん診療機能を集約した新棟が建設され、ロボット手術やハイブリッド手術も可能となります。どの診療科においても多くの症例が集まり、プライマリーケアの十分な経験・学習が可能です。

2年間の研修プログラムは、本人の希望を最大限に取り入れられるよう、自由度の高いものとなっています。将来進む科が決まっていなくても存分その科で学ぶ人もいれば、たくさん科を経験することに重きを置く人もいます。一方で、全員が基礎をしっかりと学べるように、1年目の最初の4ヶ月間は内科・救急・小児科の3科を中心に回ります。この間は輸液療法や胸腹

指導医からのメッセージ

当院は各科とも豊富な症例数があり、重症例や特殊な疾患も集まりますが、いわゆるcommon diseaseも多く経験できます。また、救急医療にも力を入れており、幅広く基礎を学びたい方にはぴったりです。指導医数も多く、一人ひとりに合った研修内容の組み立てや、研修医の希望に沿ったプログラム作りを心がけています。



臨床研修室長/小児科部長  
畑崎 喜芳 先生  
富山県出身 信州大学卒

先輩研修医の声

研修病院を選ぶ時、皆さんと同じように私も悩みましたが、働き始めてからの過ごし方はもっと大事だと今感じています。その中で特に有難みを感じるのが横のつながりです。13人の同期はモチベーションが高く、研修への取り組み方など話を聞くだけで励みになりますし、何より同期が多い方が楽しいです。



初期研修医1年目  
青木 竜也 先生  
愛知県出身 京都大学卒

部レントゲン読影法、心電図の読み方などの講義を集中的に取り入れています。また、月に1回のペースで、研修医全員が心臓エコー、腹部エコーの実習を行います。研修医が多くの時間を過ごす救命救急センターは、北陸でもトップクラスの年間約12000人の患者受入実績があります。研修医がファーストタッチを行い、問診・診察法の基本、世界標準に基づいた救急医療や、ヘリ搬送、救急搬送、災害医療などについて学びます。臨床以外でも、プレゼン能力や知識の定着を図るための症例発表会や、マネキンや人体モデルを使ったシミュレーション教育も積極的に取り入れています。また、今後は富山県のドクターヘリの基地病院として、病院前医療にも力を入れていく予定です。その他、メニュー豊富な美味しい食堂、タリーズコーヒー、研修医だけの医局、新築の研修医住宅や研修医ラウンジ等ハード面も充実し、福利厚生もしっかりしています。また、立山診療班や海外研修など当院でしかできない経験もあります。

研修医 × 先輩医師

**三好先生** 僕は実家が精神科なのですが、例えば、精神科に来た患者さんが糖尿病や高血圧を合併している。そんなときに一緒に内科疾患も診ることができるといのは強いです

**大浦先生** ここでは各科の専門をもちながら全般的なスキルをもっているタイプの先生が多いよね。大きな病院みたいに自分の専門以外は診ない、となったら規模の小さいこの病院では回っていかないし、自分で考えて動かなければできないよね。今、総合診療医や地域医療が注目されているけれど、ある程度の患者さんは総合的に自分達で診て、それ以上のことは専門医にトリアージする。厚生労働省もそういった総合医を育成することを掲げているし。専門医と総合診療医には本来上下関係はなくて、適材適所。ここに対立関係が生まれると患者さんに不利益が生じることになる。

**三好先生** この病院での研修の特徴は、自分自身が考えて医療を行える、ということでしょうか。大病院や大きな病院だと、医師が三人くらいのチームを組んで動きますよね。それでは研修医ができることが少な過ぎます。その点、この病院では先進的な治療は無理ですが、指導医の下で研修医が初期対応を中心に、主治医となって対応するので、しっかり自分で考えないと事が運びません。自分で考えて動くということ、身に付くものが大きいんじゃないでしょうか。

長してほしい。

**大浦先生** 三好先生はコメディカルの人達とも仲がいいしね。気づきは非常に大事。それは指導のときにも意識してる。総合医志向がうちのウリだから、自分で頭を使って、行動して、失敗を糧にする。もちろん指導医がついているけれど、適度な冷や汗をかいて成長してほしい。

**大浦先生** 医師は病気にばかり気をとられがちだけれど、普段の生活にも目を配らなきゃいけない。その上で多職種と連携して問題を抽出していく。医師に必要なのは、患者さん個々の問題を拾って上手にコーディネートして解決する能力、それに尽きるよ。三好先生も2年間の研修を通じて鍛えられてるよね。



初期研修医2年目  
天満雄一先生  
兵庫県出身  
宮崎大学卒

初期研修医1年目  
杉本宰甫先生  
富山県出身  
大分大学卒

初期研修で臨床力を身につけて、  
どこでも通用する医師に！

黒部市民病院

〒938-8502 富山県黒部市三日市1108-1 TEL:0765-54-2211

■ 病院長：竹田慎一 ■ 病床数：414床 ■ 指導医：38名 ■ 初期研修医：18名

病気と生活、両方をみる  
バランス感覚を備えた総合医志向

南砺市民病院

〒932-0211 富山県南砺市井波938 TEL:0763-82-1475

■ 病院長：清水幸裕 ■ 病床数：175床 ■ 指導医：14名 ■ 初期研修医：1名



初期研修医2年目  
三好俊太郎先生  
愛媛県出身  
富山大学卒

総合診療科  
大浦誠先生  
富山県出身  
福井大学卒

**杉本先生** 黒部市民病院では救急の当直に1年目と2年目の研修医が必ずペアで入るんですが、1年目の自分から見ると、2年目の先生は診察や検査のオーダーなど、動きに迷いがなくてすごいなと思いますよ。

**天満先生** 自分も1年目には同じだったよ。ここは研修医がファーストタッチをやらせてもらえる。それで鍛えられたんだと思う。救急に所属の先生がいると、どうしても始めからその先生に頼っちゃうよね。わからないことがあると、よく2年目の研修医に聞いたり、上級医に聞いたりしたね。この病院では、風邪で来られた患者さんであっても絶対に上級医にコンサルすることになっている。これがあるから研修医は安心して患者さんを診ることができるといえる。自分は、先生だけでなく看護師さんなどのコメディカルからも色々教えてもらったね。

**杉本先生** 確かに指導医だけではなく他のスタッフの方ともコミュニケーションがとりやすいし、研修医の部屋も1年目と2年目が一緒で、そんなに垣根も感じないです。この病院は400床ちょっとで研修医が約20人、サイズ感がいいと思います。とにかく多くの症例を経験できる。他の病院だとそこまです実践的なことをさせてもらっていると、は少ないみたいです。ところで、天満先生はどうしてこの病院で研修しようと思った？

**天満先生** 僕は初期研修に入る前に1年ほど

世界を旅したんだよ。旅から戻ってきて、東北地方の病院を6施設ほど見学した中で、黒部市民病院はいい印象があった。世界に出てみて思ったのが、どうせ住むなら絶対に米と魚が美味しいところがいいな、と。それに、医師や看護師、コメディカルの方々も非常に熱心。それも決め手になったね。杉本先生は？

**杉本先生** 確かに病院全体でもウエルカム感がすごかった。僕は研修病院を決めようとしたときに、自分の中で基準がまったくなかったんです。4年生の終わり頃から人気のある研修病院を十数件見学したけれど、どこに行ってもそれぞれ良さがあった、しかもその良さが違っている。さらに悩みましたね。金沢大学のたすぎがけの研修でここで1年研修するんだけど、石川、福井、富山とある中で、結局、地元の富山を選びました。自分もそうだったけれど、研修病院を決めるのってすごい悩むと思う。僕は学生さんについても言うんだけど、いっぱい悩んだ方がいいと。どこを選んで後悔することは必ず出てくるけれど、悩んだ分だけ後悔が少ないと思う。自分の人生だから大いに悩んで、と。

**天満先生** カッコいいねえ。これから研修病院を決める人は、研修とその先のことは完全に切り離して考えていいと思う。あえて地元にも拘る必要もないし、逆に研修だからどこにでも出て行けるって捉え方もあるかな。

研修医 × 研修医



**松原部長** 新居先生は1年目だけれど、少しは慣れた？

**新居先生** まだまだですよ。でもとても丁寧に細かく指導していただいています。研修前にこの病院を見学をしたときも、とても丁寧に教えていただきました。救急でできばきと動いている研修医の先生を見て、私もそうなりたいたいと思いました。

**松原部長** 私から見ると、ドクターはとも成成長が早いですよ。研修医の先生も指導医の先生も一生懸命で、日々鍛えられているなあと。特に救急を経験したドクターは、成長著しくって、大変だろうけれど見ていて格好いと思う。

**新居先生** この病院では救急を含めいろいろなことを研修医がやらせてもらっています。1年目の研修医が5人という規模だからですね。大きな病院では名前と顔が一致しないドクターもいると聞きますから。夜間の救急はどうしてもスタッフ数が少なくなるので少し不安はあるんですが、指導医の先生はもちろん、看護師さんや他のスタッフにもわからないことがあれば聞きやすいですね。今は透析センターで毎回会う患者さんもいるんですが、今日はうまくできたねとか、もつとこつちに穿刺した方がいいとか、患者さんから教わることもあります。

**松原部長** 新人の看護師も患者さんから教わることは多いのよ。砺波は患者さんも穏や

かな人が多いのは土地柄かしら。楽しく研修できているといいな、つらい想いをしなきゃいいなって日頃から考えているんだけど。

**新居先生** 研修については個々の希望を取り入れたオーダーメイド的なプログラムですし、多くの症例を経験させていただいています。各科の医師が行うレクチャーも充実しています。ICUでも親切的な指導を受けることができます。プログラム責任者の先生と研修医が1対1で面談する機会も定期的に設けていただいているので、そこでは研修中の悩みや要望も聞いてもらえるので、充実した研修生活ですね。

**松原部長** 専門医はもちろん、コメディカルもそれぞれがスペシャリストの面があるから、いろいろな意見を聞いて、自分と違う意見や見方もあるんだと思えるようになる度量がチーム医療には必要ね。砺波総合病院は一般的な診療科だけでなく、東洋医学科、骨盤底外来など様々な専門科があり、結核や感染症床もあるので幅広く研修ができると思う。

**新居先生** 昔、自分の喘息を診てくれた先生に憧れて、研修に入る前は小児科医を目指していたんです。今はこの病院で研修して、小児科医を念頭におきながらも、もつと幅広い選択肢を考えてもいいかなと思っています。

**松原部長** 研修を終えた先生達が遊びにきて声をかけてくれるのが嬉しい。研修医の先生の成長を母のような気持ちで見守ってるの。



初期研修医1年目  
**田口理恵**先生  
滋賀県出身  
金沢大学卒

呼吸器内科  
**宗玄圭司**先生  
富山県出身  
福岡大学卒

指導医  
CROSS TALK  
研修医

フレキシブルな病院風土があるからできる  
自分の研修スタイル

厚生連高岡病院

〒933-8555 富山県高岡市永楽町5-10 TEL:0766-21-3930  
■ 病院長：亀谷富夫 ■ 病床数：562床 ■ 指導医：37名 ■ 初期研修医：6名

患者さんもコメディカルも  
研修医の強～い味方

市立砺波総合病院

〒939-1395 富山県砺波市新富町1-61 TEL:0763-32-3320  
■ 病院長：伊東正太郎 ■ 病床数：514床 ■ 指導医：31名 ■ 初期研修医：5名



初期研修医1年目  
**新居絵理**先生  
富山県出身  
関西医科大学卒

看護師  
**松原直美**看護部長  
富山県出身  
昭和54年入職

看護  
CROSS TALK  
研修医

**田口先生** 私は出身が滋賀県で金沢大学を出て、富山とは縁はなかったんですが、たくさん研修病院を見学した中での印象は、富山の研修環境のバランスが抜群によかったですね。ここ高岡だと、町の人口もちょうどいいし、common diseaseから重症例、レアな症例まで幅広くみる事ができます。それにこの病院はとても働きやすいです。

**宗玄先生** 具体的にはどういうところが？

**田口先生** 例えば、内科ならば6カ月という規定の枠はありますが、その中で呼吸器内科に6ヶ月いても、循環器、消化器、腫瘍と内科の中を転々としてもいいんです。翌月のローテートの予定を変えてほしいと言えば対応してもらえることもあるし、とにかく忙しく動きたいのか、じっくり取り組みたいのかも。この病院では、働きながら自分の研修スタイルを決めていくことができます。融通がきくというが、他の病院と比べて制約が少ない気がします。そういうことにも関係するのが、医師だけでなく他のスタッフも含めて病院全体の雰囲気なんかいんですよ。

**宗玄先生** 確かに居心地はいいね。僕もはじめて3年で辞めるつもりだったのが、もう8年在籍しているよ。

**田口先生** それに救急の先生が多いのはこの病院の一番の特徴じゃないでしょうか。救急の専門医が3人もいる病院はなかなかないでしょう。

**宗玄先生** 当直で放射線科医が常駐しているのも珍しいよ。自分たちが一生懸命に診ても迷う部分があるけれど、CTをとってすぐに読影してもらって答えが出てくる。救急でこの安心感はずい。他にも、リハビリのスタッフと一緒にカンファレンスをやったり、人工呼吸器を付けている患者さんはMEさんが全員見回ってくれたり、医師同士でも他科の先生が気軽にコンサルしてくれるからこちらも相談しやすい。チームワークが非常にいいね。例えばがんの患者さんでは、患者さんの治療方針が決まるのが圧倒的に早い。他の病院で治療開始に3週間かかるところが、ここでは1週間できる。スピード感が全然違う。これは横の繋がりができているからできるんだ。

**田口先生** これから何科に進んでも他科にコンサルすることが出てくると思うんです。そのときにこの病院の先生たちのように、相手の臨んでいることを考えながら上手にコンサルできるようにしたいですね。

**宗玄先生** 今はまだ呼吸器内科の研修も日が浅くて患者さんを把握してなかったり、基本的な手技を学んでもらったりということだけけど、1年目の研修医にはまず社会人になったという自覚を持つてほしい。患者さんとしつかりコミュニケーションをとって、患者さんに安心、信頼してもらい、最終的に満足していただく。そんな医療ができるように、医師としての社会性を磨いてほしい。

GOURMET

# 富山のごちそう

## 天然のいけす富山湾

日本海に生息する約1,400種の魚のうち、富山湾には約600種もの魚が生息していることから「天然のいけす」と呼ばれています。季節に応じて、ブリ、シロエビ、ホタルイカなど多種多様な魚が水揚げされ、これらを使った旬の富山湾鮓は、まさに絶品です。



## 立山連峰が育む水

立山連峰からの豊富で清らかな雪解け水は、冷たいまま一気に富山平野に行き渡り、肥沃な大地を育みます。そのため、植物は暑い夏でも収穫直前までいきいきと成長することができ、美味しいお米やお酒など、さまざまな恵みをもたらしてくれます。



HOLIDAY

# 富山県民に聞いた “休日” の過ごし方

- **富山の自然を体感する**  
立山黒部アルペンルート(雪の大谷、トレッキング)、黒部峡谷(トロッコ、キャニオニング、ラフティング)、登山、海水浴、ウィンタースポーツなど
- **富山の美しい景色を眺めながらのドライブ**  
世界文化遺産五箇山合掌造り集落、国宝瑞龍寺、散居村、新湊大橋、など
- **有名シェフの店でちょっとリッチな食事**  
坂井宏行シェフ監修「ラ・チャンス」、落合務シェフ「ラ・ベッタ」、[たいめいけん](2016年オープン予定)
- **銭湯で日頃の疲れを癒す**  
スーパー銭湯もあちこち! 銭湯数全国1位の富山県。岩盤浴でじっくり汗を流すのがオススメ
- **新スポットも続々誕生**
  - 三井アウトレットパーク北陸小矢部(仮称)(北陸初! 2015年夏オープン予定・小矢部市)
  - Costco(2016年夏オープン予定・射水市)

### 問診で役立つ富山弁集

- だやい→だるい
- ひどい→辛い・大変
- はじかい→かゆい
- つかえん→大丈夫
- うい→しんどい
- だいて→出して

LIFE

# 住みやすい県 富山

東西90km、南北76kmとコンパクトな地形、かつ道路整備率が全国1位のため、県庁所在地の富山市から県内各地へは、1時間以内で移動が可能です。また、JR4線、私鉄、路面電車が整備されており、県内の移動がとても便利です。



MEMO

環境省「名水百選」及び「平成の名水百選」に8ヵ所指定 全国1位

湧き水だけでなく水道水の水質もよいので、蛇口をひねれば、いつでもおいしい水を飲むことができます。

## データで見る富山県

労働者の平均勤続年数 全国 **2** 位  
12.9年  
(平成24年 賃金構造基本統計調査)

共働き率 全国 **5** 位  
54.7%  
(平成22年 国勢調査)

保育所待機児童数(少なさ) 全国 **1** 位  
0人(平成25年)

持ち家率 全国 **1** 位  
79.5%(平成25年)

地震、津波が全国最少

- 震度3以上 27回
- 震度4以上 4回

過去30年間の震災回数(1983-2012)

カフェやコンビニの数が多し

- 喫茶店軒数 … 全国 **2** 位
- コンビニ数 … 全国 **8** 位  
(人口1万人あたりに対する数)

幸福度のバランスの良さ 全国 **2** 位  
都道府県別幸福度ランキング(平成23年 法政大学大学院)

- 労働・企業 …… 全国 **3** 位
- 安心・安全 …… 全国 **3** 位
- 医療・健康 …… 全国 **4** 位
- 生活・家族 …… 全国 **5** 位

MEMO

新鮮な食べ物が購入できる  
スーパーでは、新鮮な地物野菜や魚、肉などを購入することができます。地産地消で値段もリーズナブル!

ACCESS

# 県内の交通網

新幹線駅は県中央・東・西の3ヵ所に、空港は県中央にと県内各地からの利用に便利なバランスのよい配置となっています。



**東京←富山2時間8分!!**  
**2015年3月14日 北陸新幹線 開業!!**

北陸新幹線の開業で、東京-富山間は約2時間8分で結ばれます。首都圏で開催される学会等への出席がより便利になります。途中の軽井沢へは富山から1時間あまり。癒しの休日を。

## 鉄道

東京 3時間 11分 (特急+新幹線)  
大阪 3時間 12分 (特急)  
名古屋 3時間 6分 (特急+新幹線)

は臨床研修指定病院



3,000m級の立山連峰から水深1,000mの富山湾まで **高低差4,000m**もの大パノラマが広がる富山県 **コンパクトな地形**の中に衣食住の優れた要素をギュッと詰め込んだ **贅沢で魅力的な地“富山県”**で医師としての生活を存分に楽しんでください

MEMO

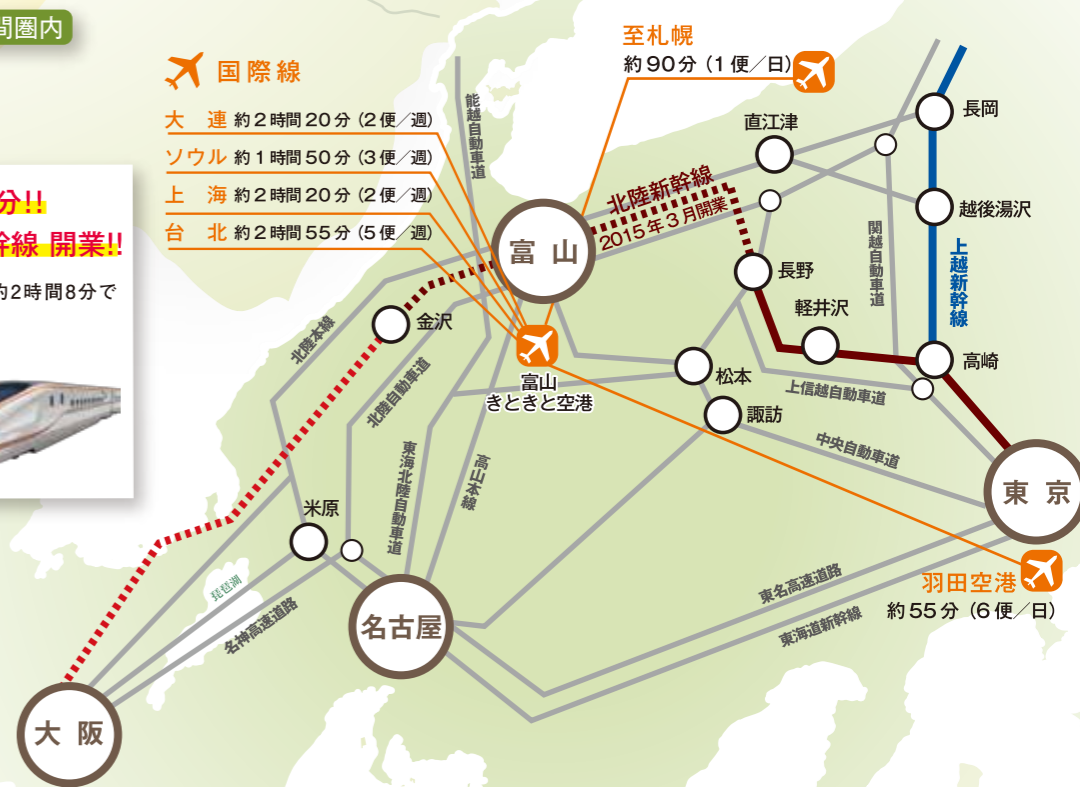
大型ショッピングセンターが多い  
各地域に大型ショッピングセンターやホームセンター、家電量販店があり、生活必需品等は一度に全部揃えることが可能です。

## 高速道路

東京 4時間 50分  
大阪 4時間 15分  
名古屋 3時間

## 国際線

大連 約2時間 20分 (2便/週)  
ソウル 約1時間 50分 (3便/週)  
上海 約2時間 20分 (2便/週)  
台北 約2時間 55分 (5便/週)



POST CARD

料金受取人払郵便

富山西局承認

4133

9 3 0 0 1 9 0

有効期限  
平成26年12月  
22日まで

富山県富山市新総曲輪1番7号  
富山県臨床研修病院連絡協議会事務局  
(富山県厚生部医務課内) 行



このたびは「groove!」を最後までご覧いただきありがとうございます。

今後の広報誌の制作等の参考にさせていただきたいので、アンケート調査にご協力をお願いします。[平成26年12月22日(月)消印有効]

アンケートにご回答いただいた方から抽選で30名様に観光庁の「究極のお土産」に選定された富山県のお菓子「T<sup>アイゴ</sup>五」をプレゼントいたします。

ふりがな

お名前： \_\_\_\_\_ 大学名： \_\_\_\_\_ 学年( \_\_\_\_\_ 年)

〒 \_\_\_\_\_  
ご住所： \_\_\_\_\_

e-Mail： \_\_\_\_\_

今後、富山県からのお得な情報(各種イベント開催案内・情報誌・メールマガジン等)の送付を希望しますか？

希望する  希望しない

Q1. 本誌の企画の中で、一番良いと思ったものを選択してください。

- 救急専門医座談会       病院紹介(富山大学附属病院)  
 病院紹介(富山県立中央病院)  研修医×研修医    研修医×先輩医師  
 研修医×指導医    研修医×看護部長    富山県の紹介

Q2. 本誌の情報量や読みやすさはいかがでしたか?

- 情報量       多い    ちょうどよい    少ない  
● 読みやすさ    読みやすい    読みにくい

(読みにくいと思った理由: )

Q3. 本誌を読んで富山県内の臨床研修病院にどのような印象を持ちましたか?

- 印象がよくなった(以下のうち、該当するものをすべて選択してください)  
ア. ホームページ等で病院について詳しく調べたいと思った  
イ. 病院見学に行ってみたいと思った   ウ. 初期臨床研修を行いたいと思った  
 何も思わなかった    印象が悪くなった(理由: )

Q4. 臨床研修を実施する上で、どのようなことが知りたいですか?

該当するものを上位3つまで選択してください。

- 研修プログラムの内容       指導体制       症例数  
 処遇・待遇       病院の雰囲気       病院の施設・設備等  
 特徴のある診療科       後期研修プログラムの有無  
 臨床研修終了後の研修医の進路先       研修医の体験談  
 その他( )

その他(ご意見・ご要望等がございましたら自由に記載してください。)